

【国土交通省後援】

自治体向けCM普及WEBセミナー

第三部 「兵庫県養父市文化会館(仮称)整備工事」事例紹介
— 市民の想いを施設につなぐCMRの役割 —

発表者

養父市 市民生活部文化会館建設推進室 雲田部長・山内主幹
阪急コンストラクション・マネジメント株式会社 CM部 高草・小島



協会創立20周年

発注者の一番近くにCMrがいます

1 プロジェクトの概要

-1 養父市について

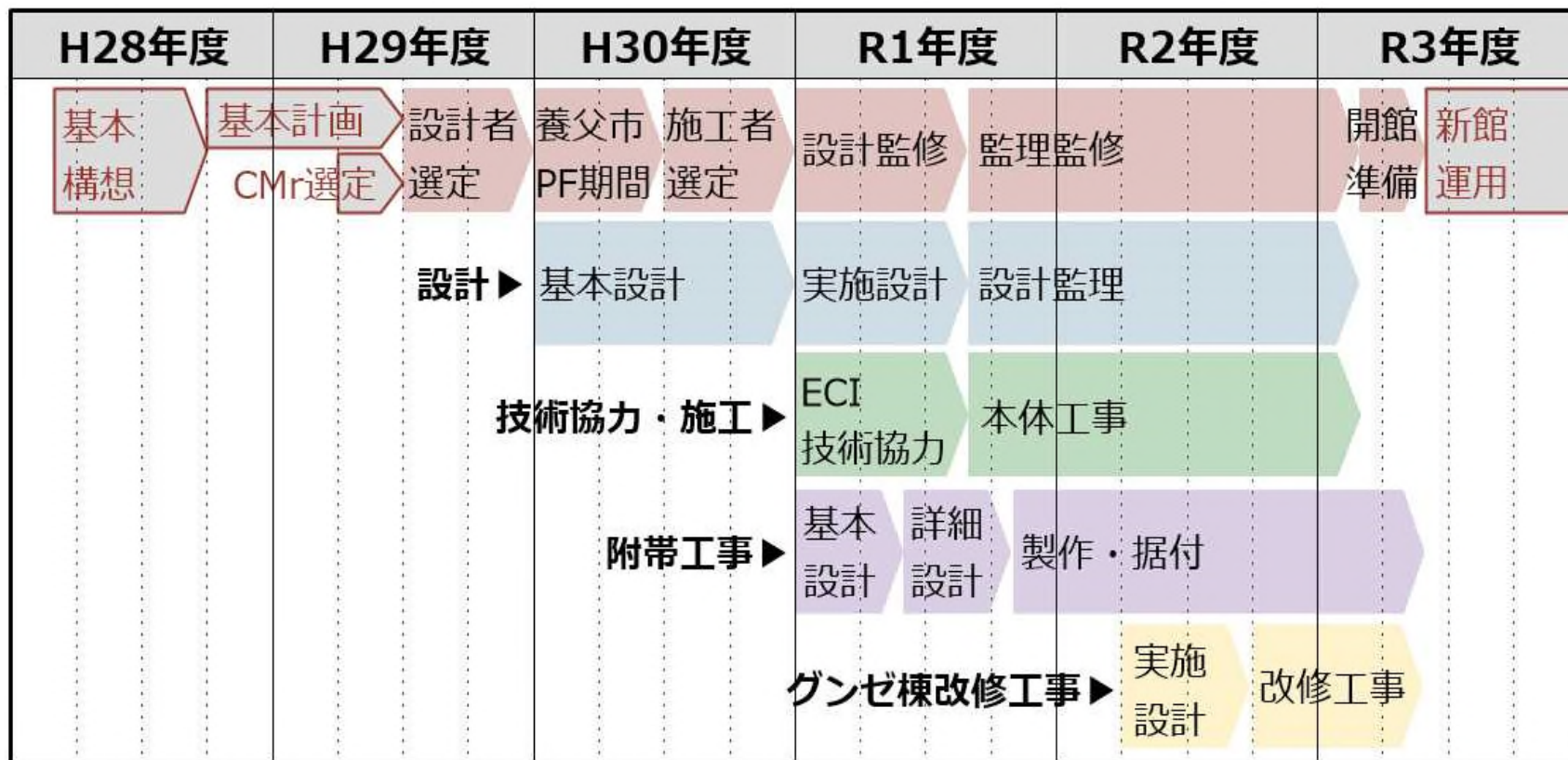


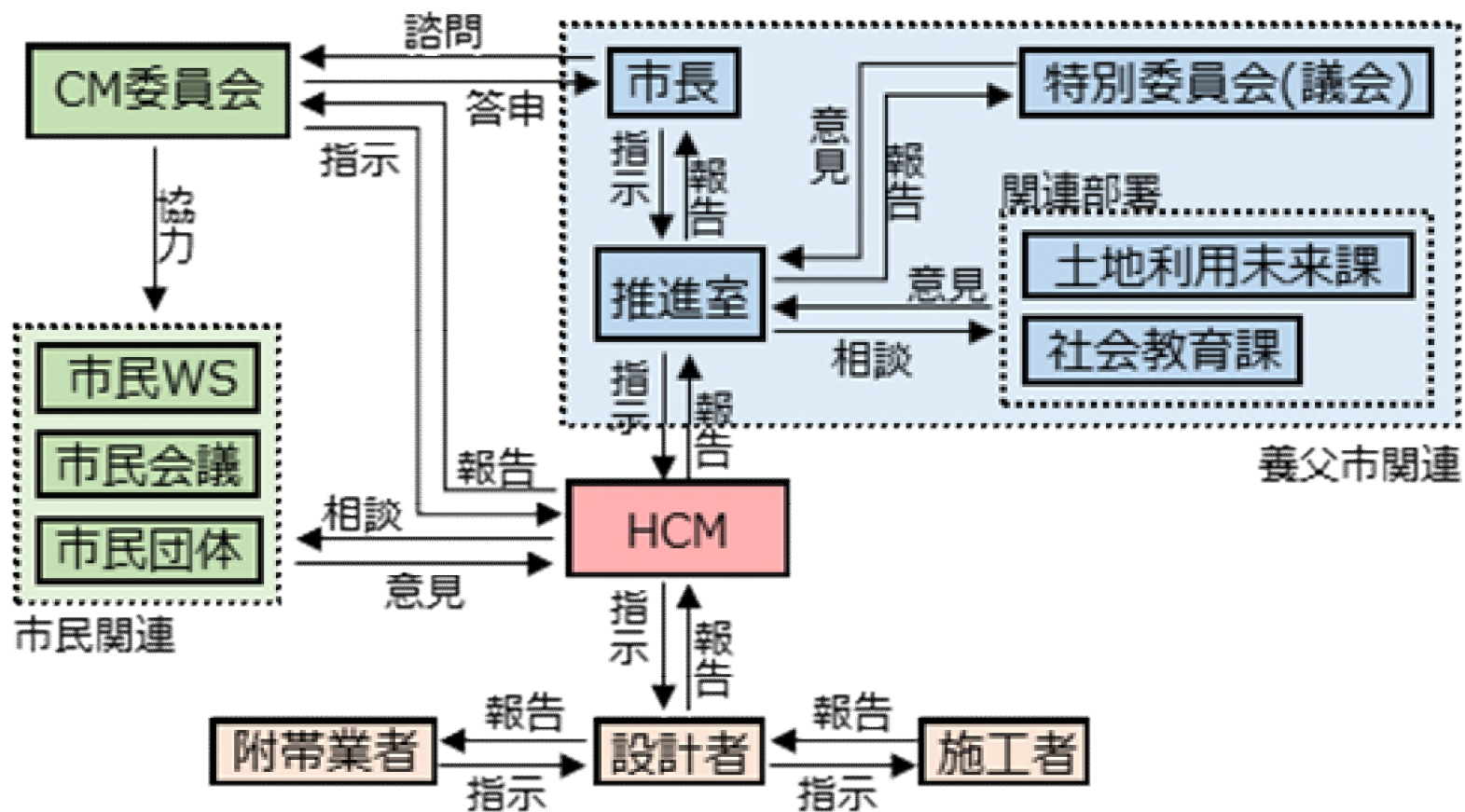
着工前の敷地状況



1 プロジェクトの概要

-2 事業スケジュールについて





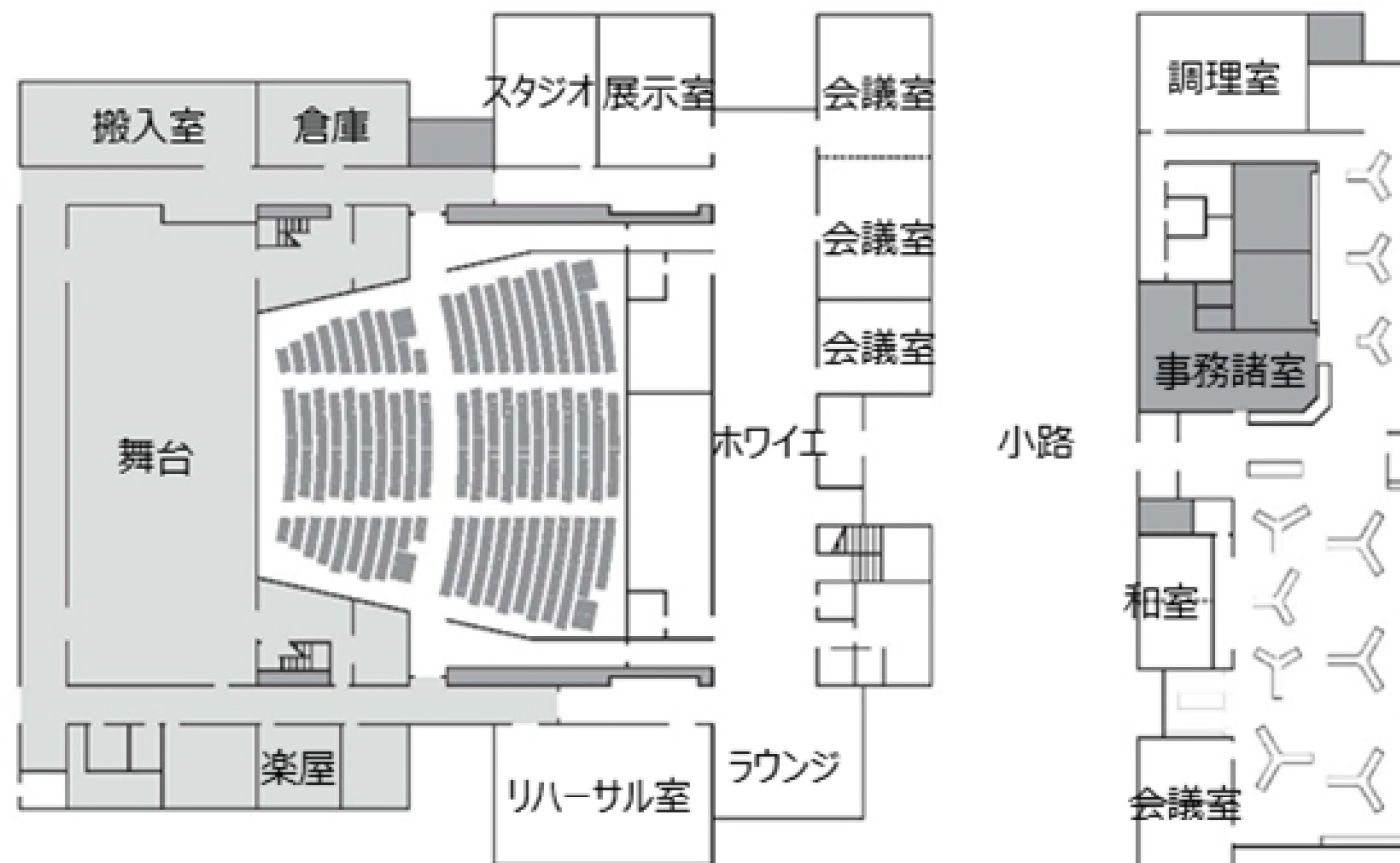
1 プロジェクトの概要

-4 配置図



1 プロジェクトの概要

-5 一階平面図



1 プロジェクトの概要

-6 竣工写真



1 プロジェクトの概要

-7 竣工写真



1 プロジェクトの概要

-8 竣工写真



1 プロジェクトの概要

-9 竣工写真



1 プロジェクトの概要

-10 竣工写真





1 プロジェクトの概要

-12 竣工写真



OCM業務プロポーザル募集要項に記載された、CMRに求めること

「本施設は、文化芸術の拠点として将来にわたり、愛着を持って利用され、地域の文化を守り育み、ふるさとへの誇りを一層高める役割を果たすとともに、市民はもちろん、市外からも気軽に立ち寄り、養父市の文化、芸術、伝統、風土が醸し出す魅力が感じられる場所にしなければなりません。これらの実現に向けて、限られた予算の範囲内で、より高品質な施設を期限内に完成させ、市民に提供するという最大限の事業効果を発揮することをCMRに求めています。」



○プロジェクトを取り巻く状況

- ①高い技術力を持つ大手ゼネコンが参画しにくいエリア
- ②市民からの意見聴取の推進役が不在
- ③養父市の一大事業にもかかわらず、市民の関心は低く、機運が盛り上がっていない



◆プロジェクトの目標

- ①目標期日内に目標予算内での目標品質確保
- ②市民の意見を取り入れた計画の実現
- ③市民から愛着を持たれる賑わいに溢れた施設の実現

-2 CMRの業務目標と業務スコープについて

◆プロジェクトの目標

- ①目標期日内に目標予算内での目標品質確保
- ②市民の意見を取り入れた計画の実現
- ③市民から愛着を持たれる賑わいに溢れた施設の実現



◇ CMRの業務目標

- ①設計者と施工者の技術力を最大化するために最適な発注スキームの検討
- ②市民意見を着実に具現化するための体制づくり
- ③市民が愛着を持てる様々なイベント実施と開館後の賑わいにつながる仕組みづくり

■ CMRの業務スコープ

- ①徹底した市場調査と柔軟な発注スキームの提案
- ②市民会議、市民WSの企画及び開催支援とその意見を多面的に検討する
外部専門家との連携
- ③イベントの企画及び実施支援と運営マニュアルへの反映

◇ CMRの業務目標①

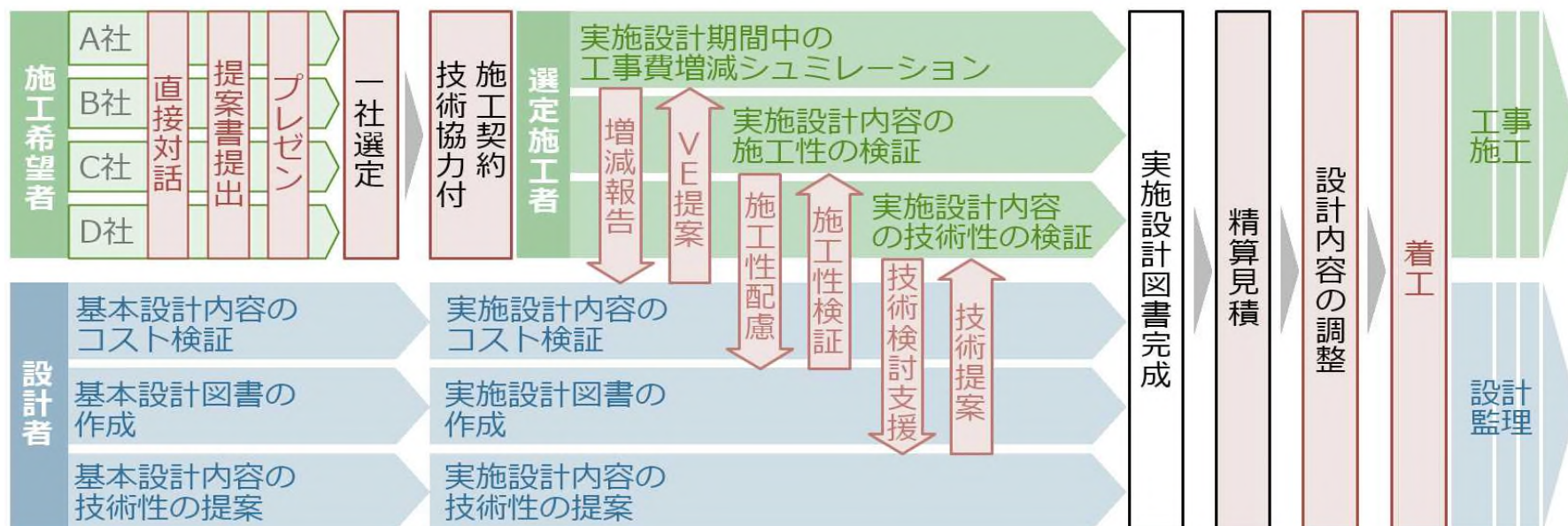
設計者と施工者の技術力を最大化するために最適な発注スキームの検討



- ①高い技術力を持つ複数の施工会社が競合する環境づくり
- ②施工者選定と工事請負契約の最適な実施時期の検討
- ③設計者と施工者の最適な協業体制の検討

	設計者選定 準備段階	設計者 選定段階	基本設計及び 施工者選定準備	施工者 選定段階	実施設計 段階
CMR の 動き	事例 調査	施工者との協業体制 に関する設計者提案	選定設計者との協議		ECI業務期間
	第1次施工者 ヒアリング	第2次施工者 ヒアリング	養父市PF	応募者の技術 協力体制提案	
CMR の 判断	このエリアの地理 的特性から入札不 調の危険性が高い と判断しDBB方式 から、DB又はECI 方式への変更を 決定	設計者からの施工 者との協業体制に 関する提案と施工 者ヒアリングの結 果を受け、ECI方 式を採用すること で決定	養父市PFでのヒア リング結果をもと に、技術協力契約 時に工事請負契約 も条件次第では可 能であることを 確認	技術協力期間の業 務内容について、 専門業者の早期選 定と基本設計から の変更があった場 合の増減試算を主 とする方針で決定	CMRが三者会議を 主導し、市民意見 による設計変更対 応と、それに伴う 工事費増減、専門 業者による詳細検 討を早急に実施
発注 方式	DBB	DBorECI	ECI	Y-ECI	Y-ECI詳細





◇ CMRの業務目標②

市民意見を着実に具現化するための体制づくり



- ①市民からの施設に対する意見を吸い上げる手法の検討
- ②抽象的になりがちな意見を具体的なカタチとして落とし込むための検討
プロセスの構築
- ③実施設計以降の変更にも対応できる体制づくり

3 CMRがとった手法

-6 市民意見の具現化



3 CMRがとった手法

-7 市民意見の具現化





■ 基本設計段階での屋根シルエット



■ 完成した屋根シルエット

3 CMRがとった手法

-9 市民意見の具現化



◇ CMRの業務目標③

市民が愛着を持てる様々なイベント実施と開館後の賑わいにつながる
仕組みづくり



- ①施設の使いこなしについて意見を聞くためのWSの開催
- ②プロジェクトの認知度を高めるイベントの企画と開催支援
- ③多様な企画を生む市内外の学校や各種団体との連携構築

イベント名称	連携団体
敷地見学会	文化施設プロデューサー
立誠舎での事業説明会	
高校生との市民WS	関西大学
ママさんとの市民WS	関西大学
パパさんとの市民WS	関西大学
YABU盛会議	関西大学
ホールテストイベント/スーパーキッズオーケストラ演奏会	兵庫芸術文化センター、八鹿高校
壁画イベント	八鹿高校、関西大学
屋外空間テストイベント/コロナ対応で中止	関西大学
芝貼りイベント/コロナ対応で中止	関西大学
瓦記名会	
小学生による工事現場見学会	
柿落とし公演	兵庫芸術文化センター
ロゴマークデザインプロポーザル	
ハーベストウェディング	夕陽丘学園、関西大学

3 CMRがとった手法

-12 市民が愛着を持てるイベント実施



3 CMRがとった手法

-13 市民が愛着を持てるイベント実施



3 CMRがとった手法

-14 市民が愛着を持てるイベント実施



4

CMRが受けた評価

-1 プロジェクト目標の達成度

◆ プロジェクトの目標 ①

目標期日内に目標予算内での
目標品質確保

目標の工期と予算の中で設計開始時点での要求事項をほぼ全て達成し、特にホールの音質は佐渡裕氏から高い評価を得る

◆ プロジェクトの目標 ②

市民の意見を取り入れた計画
の実現

ホールの特性や屋根形状及び仕様など、基本設計段階及び実施設計段階の変更手続きを含む市民意見の反映を実現

◆ プロジェクトの目標 ③

市民から愛着を持たれる賑わいに
溢れた施設の実現

開館以降、ホールの予約は半年先まで埋まり、図書館、公民館は子供からお年寄りまで広い世代の利用で賑わっている

地方において、専門分野毎に技術者を抱えられない小規模自治体では、文化芸術関連施設をどのように更新するか、手法の開発が求められている。そこでは、建築における様々な技術的問題を解決するだけでなく、市民の気持ちを聞き出し、意見としてまとめ、それをプログラム化・空間化しなければならない。

このような自治体による建設事業へのCMRの参画では、ハード面のマネジメントという従来型の業務に加えて、ソフト面のマネジメントも今後、重要なCMRの役割になると考える。本案件では、CMRが発注者・設計者・施工者及び市民と緊密な意思疎通を図り、合意形成を支援するプラットフォームを構築して、さらに大学や高校、文化芸術団体など地域内外の様々な団体や人材とも連携しながら、市民から得た意見を具体的かつ的確に計画に反映することができた。この「養父式CM方式」とも呼べる手法は、他の小規模自治体の建設事業はもちろん、用途や規模を問わず、様々な建設事業に応用が可能だと考える。

ご清聴、ありがとうございました。



協会創立20周年

発注者の一番近くにCMrがいます